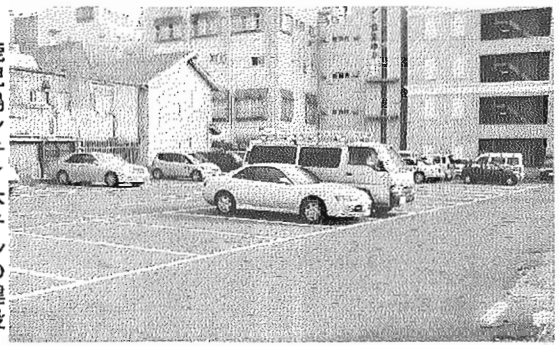
民間工事ニュース

鹿児島シティホテル（鹿児島市）建設
県外3社で見積り
竹山産業開発


鹿児島シティホテルの建設予定地

竹山建設㈱（竹山眞一郎社長、名瀬市）の系列会社で、奄美サンプラザホテルを運営する竹山産業開発㈱（同社長、同）が、鹿児島市山之口町に建設を計画している「仮称・鹿児島シティホテル」で、施工業者選定にあたり淺沼組、鴻池組、飛島建設の3社を指名、13日に見積もりを徴集し、早ければ15日、遅くとも18日には施工業者を決定したいとしている。事業が順調に進めば10月下旬にも工事に着手、18年10月末の完成、11月初めのオープンを目指す。設計は、クリエイトプランニングが担当。なお、土地購入費など含め総投資額は約25億円。

建設地は、同市山之口町9－69外。敷地面積1589・42平方㍍に、建物規模S造14階建延べ床面積9307平方㍍のシティホテルを建設するもの。施設内容によると、客室はツイン15室、デラックスシングル63室、シングルが284室の計362室を予定。1階にフロント、レストラン、会議室などを設置、2－14階までを客室とするほか、敷地内には立体駐車場2基（計94台）も整備する予定としている。

施工は桑木組
たばこ乾燥工場（高尾野町）新築
高尾野町たばこ第2生産組合

高尾野町たばこ第2生産組合（末野義和組合長）は、出水郡高尾野町にたばこ乾燥工場の新築を計画。このほど、数社による指名競争入札を行った結果、施工業者を桑木組に決定した。工期は17年2月末までを予定。設計は清水建築事務所が担当。

計画によると、建設地は同町大久保寺田1072－1他。建物規模はS造平屋建て837・29平方㍍。内部には、たばこを乾燥させる機械類を導入するほか、たばこの貯蔵庫、乾燥場など設置する予定。なお、機械設置は三州産業が担当。

新鹿児島放送会館（鹿児島市）建設
竹中グループで着工へ
NHK

新鹿児島放送会館の完成イメージ図

NHK鹿児島放送局は5日、東京都のNHK放送センターで行われた理事会で新鹿児島放送会館建設基本設計を正式に承認したことを明らかにした。これで建設に向けて準備に取り掛かり、竹中工務店・松田平田設計・渡辺組・春園組グループが17年1月頃に本体工に着手、18年9月頃の完成、同年12月の放送開始を目指すことになった。

建設地は鹿児島市本港新町ウオーターフロント地区の敷地面積7741・87平方㍍。新会館の建物規模は約5940平方㍍（地上3階建一部4階）。現放送会館は昭和11年に同市天保山の敷地約3586平方㍍に建設されたRC造2階一部3階建延べ約3892平方㍍の建物を昭和37年、45年に増築したが、手狭になっていたことなどが最大の要因。特徴として①地球環境に配慮したさまざまな環境負荷低減策の積極的な提案②十分な軟弱地盤対策や免震構造の採用で災害に強い構造③広い敷地を利用した親しみやすい開かれた会館としての提案④桜島・市街地の展望を活かした屋上広場（サテライト・スタジオ含む）の提案⑤明確なゾーニングなどを評価した」と補足した。また、屋内外合わせて200～300平方㍍の屋上展望広場を設け、県民に広く開放する予定。

グランドパレス柳町（鹿児島市）新築
30戸 数社で見積り徴集
第一交通産業

第一交通産業㈱（田中亮一郎社長、北九州市）は、鹿児島市柳町に共同住宅「仮称・グランドパレス柳町」の新築を計画、施工業者は数社から見積もり徴集を行い、決定するもようだ。順調にいけば11月頃にも工事に着工し、18年3月の完成を目指す。設計は久保建築設計が担当。

同マンションの建設地は、国道10号沿いの同市柳町5－11。敷地面積635・08平方㍍にRC造11階建延べ2983・91平方㍍（高さ37・20m）の分譲マンションを建設する。施設概要は2階から11階までに30戸を予定し、1階に駐車場を設置する。

勝建設に決まる
8戸 南新町マンション（鹿児島市）新築

中央建研が鹿児島市南新町の敷地に共同住宅新築の設計を進めている仮称・南新町マンションは、設備一括で施工業者に勝建設を決めた。このほど起工式を終え、工事に本格着手する。

同共同住宅は、鹿児島市南新町2050－25、10の第1種低層住居専用地域に建設を計画。390・49平方㍍の敷地にRC造3階建延べ428・76平方㍍の共同住宅を建設する。

なお、同マンションは駐車場付きマンションとして8戸程度を設ける予定だ。

木蔭

小園修一

学校の憂鬱

朝、時間割をみて、リーダーの予習をしていないことに気づき、指される恐怖におののきながら、授業中に一生懸命単語の訳を調べているところで目が覚めてほっとする。これは、以前夜なななされていた夢である。今思い出してみると、私にとってどうも学校は居心地の良いところではなかったようである。人前に出るのが全く苦手だったため、授業中に発言させられないように、「はい、はい」と大きな声を出しながら一生懸命手を挙げている級友の後ろに隠れて、ひたすら指されないようにびくびくしながらチャイムの鳴るのを待つ生活を送っていた。

また、好き嫌いがはげしかったため、給食も苦痛な時間であった。運動神経もあまり発達しておらず、音感も悪く、絵心もなく、小学校時代は、気の休まるときはほとんどなく、自習だけが、楽しく過ごせる時間であった。中学、高校になると手を挙げなくても指される。それは、試験の結果で教師や親に叱られることである。叱られるには、いたずらをしたとか、規則や約束を破ったとかそれなりの理由があるはずであるが、テストの点数が低い（それも相対的に）ことがその理由に該当するとはとても思えないのである。そもそも試験で満点を取るために勉強をしているわけではなく、試験の結果で理解できたかどうかを確認し、その後の勉強に生かしていくものだと思うのだが、どうも世間一般にはそのようには解されていないようである。

今後、1クラスの児童数が少なくなる方向にあるということであるが、授業中に指される確率もそれだけ高くなり、私と境遇を同じくする子供にとっては、さらに困った事態になるわけであり、同情する次第である。

私はというと、最近は悪夢にうなされることもなくなり、やっと学校の呪縛から解放されたようである。私にとっての学校生活は遙か昔のこととなり、リーダーの予習をする必要のない、平穏な生活を送れる幸せを満喫している毎日である。

（県監理用地課建設業係主幹兼係長）

建設業許可申請
変更届・資格審査申請・官公庁許認可・登録申請手続き致します
許認可コンサルタント
安田行政法務事務所
鹿児島市中央町5－41 TEL 252-8084
トーカンマンション白雲602号 FAX 252-1144

お手軽で便利な購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

民間工事等の情報は、本社報道部へご連絡下さい